

## 構築会兵庫支部 平成12年度見学会の概要

平成12年度の見学会は、七夕の日に38名が参加して、神戸市兵庫区南部の御崎公園の地下に完成した神戸市営地下鉄海岸線(平成13年開業予定)の「御崎車両基地」と、既に搬入されていたリニアモーター式の新しい車両を見学しました。

地下鉄海岸線は、神戸港開港以来、神戸の発展を支えてきた地域のインナーシティ問題の顕著化に対応するために投資される住宅整備、インフラ整備、商業・業務地整備といった都市再開発プロジェクトを相互に連結し、沿線地域活性化の先導的役割を果たす事業として、平成5年度から建設が進められています。約4万 $\text{m}^2$ の規模を持つ車両基地は、電車を安全・正確・快適に運行できるように車両の定期検査や保守点検などが行われ、地上が公園、地下1階が駐車場、地下2階が当基地になっています。地上に設けられた車両搬入棟を通じて、車両工場から陸送されてきた新しい車両が基地内に搬入されていました。これは、通常の電車のように回転モーターで車輪を回して駆動するのではなく、車両側のリニアモーターコイルから、レール間に設置されたリアクションプレートに電磁力を作用させ、直接車両を推進するリニアモーター駆動方式が採用されています。

次に、これに隣接して2002年開催のサッカーW杯の会場として急ピッチで建設工事が進む「御崎公園スタジアム」の工事現場を訪れました。スタジアムは天然芝が敷かれ、延べ床面積は58,700 $\text{m}^2$ 、W杯開催に備えゴール裏に設置される仮設スタンドを含めた収容人数は42,000人でオープンするそうです。W杯終了後に仮設スタンドを撤去、開閉式屋根やスポーツジムなどが整備されるとのことでした。ラグビー全日本平尾監督の世界各国における球技場での経験から、観戦環境を重視した様々なアイデアが取り入れられていました。

また、当日は見学会までの時間と行程を利用して、見学地周辺の①兵庫津(ひょうごのつ)の道、②川崎重工業車両工場の2コースに分かれて希望者による特別見学会も実施し、非常に暑い中を元気に歩いて見学しました。

見学会終了後は神戸タワーサイドホテルに会場を移して懇親会を開催、構築会の高原 彊次会長、土木工学専攻長の出口一郎教授もご来賓として参加くださいました。暑い夏の盛りを3km近く歩いた後だけに冷たいビールが喉越しに快く、見学会の話題から最近の大学の事情まで幅広く歓談しながら、楽しいひとときを過ごしました。